【実践キャリア実務士】教育課程　到達目標達成度評価表（提出用）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資格到達目標 | 開発能力 | 具体的な学修目標 | 学生自己評価（項目別）レベル | 学生自己評価（領域別）総合評価 |
| 領域１　働くために必要な基礎能力を修得し、実社会と自分の関係を関連づけて考えることができるキャリア教養を身につけている。 | 1-1働く基礎能力 | ①学んだ基礎能力（読解力・対話力・考察力・デジタル基本スキル・言語表現力など）を発揮して主体的に調べ、考察できる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ②職業生活・社会生活で必要なマナーやルールを活用して状況に応じた行動をとり、自らを律して、責任感をもって行動することができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-2自分を知る力 | ③就業への問題意識と協働意識をもって実践的に学修活動に取り組み、自分の行動を振り返り、自らの能力や資質を明確にできる。 | 5・4・3・2・1 |
| ④自ら学びの目標を設定し、達成状況をもとに目標を再設定し、改善に向けた活動ができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-3社会を知る力 | ⑤市民社会や組織の一員として自覚をもって課題を捉え、人への思いやりと責任感のある行動をとれる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑥社会の問題を多面的に理解し、建設的に対話や議論をして、実社会と自らのキャリアを関連づけて考えることができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域２　総合的学修の体験を通じて、職業人として就業する上で必要なキャリアと能力開発の方向性を明確にすることができる。 | 2-1就業の中でキャリアを考える力 | ⑦学んだ知識・スキル・態度を活かして、周りの人と共に課題を明確にし、創意工夫をして総合的な課題解決ができる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑧職業生活・社会生活のあり方を主体的に設計し、実務実践の体験を通じて学びを継続することができる。 | 5・4・3・2・1 |

〇評価結果の全体振り返りと今後の自分の開発能力と学修課題について（300字程度 学生記入）

|  |
| --- |
|  |

教職員提出確認

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大学ｺｰﾄﾞ |  | 大学名 |  | 学部・学科 |  |
| 学籍番号 |  | 氏名 |  |